

# HAMAYOU

芦屋町ボランティア活動センター通信 150号

発行日 2024年12月1日

発行者  
芦屋町ボランティア  
活動センター「リード」  
発行所  
遠賀郡芦屋町中ノ浜11-6  
町民会館2階  
TEL 093-221-1011

## 養成講座から活動へ

あなたの一歩を後押しするために

ボランティア活動センターでは、ボランティア人材発掘・養成のため、これまでフードパントリーやふうせんバレーボールなどの研修会を開催してきました。しかしながら、実際のボランティア活動になかなかつなげることができていません。

その要因として、次のようなことが考えられます。

- ①学んだことをどのように生かしたら良いかわからない。
- ②研修で習ったものの実践するには不安がある。
- ③一人では活動を行うには勇気がいる。

皆さんの一歩を後押しできるように、今後のボランティア養成講座では、実際の活動機会や参加方法、サポート体制などを具体的に案内できるようにしたいと思います。

8月の養成講座で体験した折り紙ボランティアの活動を始めやすいように、ボランティア活動センターでは、折り紙と分かりやすい折り図を用意しています。また、折った作品を展示する場所や寄贈のための折り紙ボックスを用意しています。



何から始めればいいのかお困りの方がいましたら、ぜひボランティア活動センターで折り紙を折ることから始めてみてください。スタッフがどのような場で活動が可能か、また同じ仲間のような人がいるかなどのつながりづくりの支援も行います。いつでもお立ち寄りください。

## 新しいスタッフを紹介します！

はじめまして、9月から勤務しております。永山です。出身は本州の最北端青森県の三沢市です。学生時代からの夢は九州に住むことでした。特に北部九州は海峡、製鉄、炭鉱、大河（遠賀川）があり、未知の土地であり憧れでした。今はその夢が叶い、とてもうれしく思っています。私は、青森県人会で「青森県の魅力」を九州の皆さまに知ってもらおうボランティア活動を行っています。ボランティアは、人と人とながらることから始まるものだと思います。どうぞよろしくお願います。



## ボランティア活動団体のご紹介

今回ご紹介するのは、洞山の保存活動と芦屋町の郷土史の伝承活動を行っている団体です。

### ◆洞山保存と郷土史を語る会

芦屋町には、多くの名所・旧跡があります。会では、「洞山及びその周辺に1000本の樹木を育てよう」



をスローガンとし、洞山や大君神社周辺の植林や枝打ち、草刈り、海岸清掃などをおして、保存活動を行っています。また、芦屋町の神社仏閣巡りや学習会・講演会を開催し、郷土史を学び、町おこしを推進しています。会の活動に関心のある人はボランティア活動センターまで、問い合わせてください。

## 芸能ボランティア

### 〜おしぼり人形〜

自分の特技や趣味を生かすことができるボランティア活動はたくさんあります。今号では、その1つである芸能ボランティアについて紹介します。

芸能ボランティアとは、自分の特技や趣味を地域のイベントや福祉施設などで披露したり、教えたりするものです。

ボランティア活動センターでは、芸能ボランティア養成講座を3月に開催します。北九州市でおしぼり人形教室を行っている中村泰隆さん（芸名・津々美泰喜代）を講師に招き、おしぼり人形の作り方や踊り方についてお話していただきます。



津々美流のおしぼり人形は、おしぼり1枚、輪ゴム3本、割りばし1本で簡単に作ることができます。作ったおしぼり人形を曲や歌に合わせて操りながら踊りを披露します。

人形のまるで生きているかのような踊りは、見る人に感動や笑顔を与えるところにも、「自分もやってみよう」などの自発性を促すきっかけにもなります。

おしぼり人形に、あなたの指さばきでのちを吹き込んで、感動づくりの輪を広げる担い手になりませんか？  
詳細は、広報あしやなどで今後お知らせします。

## おらせ

### 今後の活動予定

◆令和7年3月8日（土）  
「芸能ボランティア養成講座」

### ★各種団体活動（見学できます。詳細はお問い合わせください）

#### ■福祉支援

- ・芦屋町手話の会(水 19:00)
- ・ハーティネットあいあい  
(視覚障がい者支援) (第1月 9:30)

#### ■英会話

- ・AEGC(木 10:00)

#### ■手作り教室

- ・すみれ会〈洋裁〉  
(水 10:00)
- ・さくら会〈洋裁〉  
(水 13:00)
- ・でんでんむし〈布絵本〉  
(木 10:00)

### ☆編集後記☆

今夏の猛暑は異常、大きな自然災害も多発し、暮らしに直結する野菜や果物の収穫にも大きな影響が出て値上がり顕著である。もはや地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が始まったと警鐘が発せられている。全てのものが有限でないことを知り、生きるものの全てのために、かけがえのない水と緑の星「地球」を守って行くことの大切さを感じている。(橋)